



特集 地域共生社会の実現に向けて

～それぞれの立場や時を超えての循環～ (P.2)

P.4 福祉活動への貢献ありがとうございました
表彰状・感謝状授与式を開催しました

P.7 写真で振り返ります
地域共生社会フェスタの開催報告

P.8 くらし方ノート
こんにちは、権利擁護センターです

P.11 活動のサポートと橋わたしをします
ボランティア情報「まいボラ」

※写真は、ファミサポ交流会（マクラメ編み体験）でのほっこりする一場面です。

特集

地域共生社会の実現に向けて

それぞれの立場や時を超えての循環

地域共生社会の実現に向けて、全国各地で様々な取り組みが進められています。

地域共生社会は年齢や性別、障がいの有無などに関わらず、支え手・受け手の垣根を越えて、全ての人が役割を持ち、多様な主体の参画を得ながら分野を超えてつながることで、一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともにつくっていく社会です。

今月号の特集では、近所の方々との間で生まれる「支え合い」に焦点を当てます。支え、支えられ、誰もが役割と生きがいを持てる地域づくりの中で紡がれる一人ひとりの想いをお伝えします。



「役割」で「生きがい」を紡ぐ居場所「きつちや」

人の数だけ、出番がある

週に一度、地域の公民館で開かれる『きつちや』。ここは誰でもふらっと立ち寄り、お茶を飲みながら交流できる居場所です。会場では、高齢者や地域の方がスタッフと共に準備や後片付けを和やかに行っています。

● 受けた「恩」を次の誰かへ「送り」、今を生きる力にする

「私は、みんなが楽しく過ごしているのを見るのが嬉しい」と語るのは、『きつちや』を立ち上げたスタッフのNさん。「この地域に住み、地域の人が自分を育ててくれた。今はその恩を、違う形で次の誰かへ送っているという感覚。ここでの活動は、私自身の生きがいになっている」

● 「ありがとう」と言ってもらえる喜び

参加者のHさんは『きつちや』の片付けを手伝っておられます。

「ボランティアの方から「ありがとう」。Aさんがこうして来てくれるからこそ、この『きつちや』が続けられるんですよ」と言ってもらえるのが何より嬉しい。自分の存在が誰かの役に立っている、認められていると感じます。」



「お互い様」の心と「支えられるばかりでない」 関係性が紡ぐ人々のつながり

日常の買い物や散歩の際に、隣の人の様子を気にかけてたり、すれ違うときに挨拶を交わしたり。「見守り」は、身近な近所づきあいの中でも行われています。また、地域の活動に目を向けると、一人の方の立場として、支えられる場面があったり、支える場面があったり、立場が入れ替わる様子が見られます。

●「お互い様の心」

「活動と呼ぶほど大層なものではありません」と笑うMさん。昔からの近所づきあいだから、顔色が悪いといった声をかける。今は私が支える側かもしれないけれど、お互い様だと思っています。それぞれ今の状況が違うのは当たり前だと思うので、その上でそつと手を差し出したいんです」

●私もまた、誰かの支え

一人暮らしのDさんは、地域のサロンに招かれている一人です。しかし、Dさんにはもう一つの顔があります。それは、子ども食堂の厨房でエプロンを締め、子どもたちのために包丁を握るボランティアスタッフとしての姿です。

Dさんはこう話します。「サロンで声をかけてもらうのは心強いし、支えられていると感じます。でも、子ども食堂で調理を手伝っている時は、私が誰かの役に立てる番。『支えられているばかり』ではありません。感謝を伝えること、子どもたちに挨拶を返すこと、そして美味しいごはんを作ること。それらも私にできる大切な役割。私も地域の一員として、誰かを支えている部分があると感じることで、明日への元気が湧いてくるんです」

まとめ

支え合いは「循環」する

支え合いの輪を、

これから共に

今回の取材を通じて見えてきたのは、地域の支え合いに境界線はなく、『同じ地域に暮らす人』として自然につながっているということです。

支え合いの関係は、一方通行ではありません。今は誰かを支える側であっても、いつか必ず自分も支えが必要になるときが来ます。また、今は支えられているだけと感じている人も、その存在や経験自体が、誰かの生きがいや役割を生み出しています。

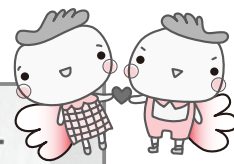
支えを必要とする人を支えられる地域は、自分が困ったときにも支えてもらえる地域です。

一人ひとり、考え方や状況が違うのは当たり前です。その違いを認め合い、全ての人が手を取り合って、支え合える地域こそが、将来にわたって安心して暮らせる場所になります。この「支え合い」の輪をこれからも共に紡いでいきましよう。



令和7年度 社会福祉法人米原市社会福祉協議会 表彰状・感謝状授与式を開催しました

福祉活動への貢献ありがとうございました



表彰

福祉活動の発展向上に寄与し、その功績が顕著な個人・自治会の方々です。
(順不同)

大原農園どろんこ畑 清水 正雄 様
河内自治会 様
米原西自治会 様
大久保自治会 様
リバティ近江自治会 様

感謝

福祉活動に協力援助するため、多額の浄財をご寄付いただいた方々です。
(順不同)

元山内一豊の母「法秀院」顕彰会 様
株式会社匠工房 様
匿名 1 件
レーク伊吹農業協同組合 様
有限会社山崎オートサービス 様

～表彰者の活動紹介～

◎大原農園どろんこ畑 清水正雄様

清水正雄様

米原市烏脇で『大原農園どろんこ畑』を運営し、市内の保育施設や特別支援学級の生徒に収穫体験の機会を提供されています。
畑で採れた野菜を介護施設や保育施設・子ども食堂等へ提供するため、9年に渡り善意銀行へご寄付いただいています。

また、市内で農業を体験したい方へ、栽培方法のレクチャーをしながら農業体験の機会も提供されています。特に子育て世代で農業体験を希望される方を対象に、自然の中で体を動かすこと、野菜を作り感謝して食べることの大切さも伝えておられます。

『大原農園どろんこ畑』では、農業体験への参加者の方々が交流しながら活動される様子が見られ、地域住民のつながりづくりの一翼も担っておられます。

子育て世代に限らず、多世代での交流を楽しみ活動される様子からも、今後の活躍が期待されます。



大原農園どろんこ畑 集合写真

～表彰自治会の活動紹介～

◎河内自治会様

河内自治会では、福祉委員会を設置され、地域課題を共有し解決に向けた話し合いや取り組みを行っております。

これまでには、通院における移動支援ニーズから、地元ボランティアによる移動支援体制を組織し活動してられました。そうした中「(デマンド型タクシー)『まいちゃん号』があるが使い方が分からず、買物等に支障があるので免許返納もできない」という課題を住民の方々から聞き、各個人が『まいちゃん号』を利用できるようになるための、予約・乗車体験を含めた合計3回の連続講座を実施されました。

今回の連続講座を実施する中で、『まいちゃん号』にボランティアと同乗する移動支援ニーズや宅配による生活必需品を確保するためのサポートを求める新たなニーズを把握され、今後の取り組み課題として検討していけます。日頃の暮らしや活動を通じ、住民の方々の生活課題・支援ニーズを把握し、発展される河内自治会の取り組みが注目されます。



講座の様子

◎大久保自治会様

大久保自治会では、平成11年からサロン活動に取り組んで来られました。参加者に合わせて内容を工夫しながら長年継続されており、近年は「寒くなるとどうしても家にこもりがちになる」という課題を解決するために10月から3月の間、月1回サロンを実施されています。

昨年から新たに自治会館に設置された機材を活用してYouTubeを見ながら歌や体操を行ったり、わなげ等のレクリエーションや自由におしゃべりをして過ごす時間をもつなど、サロンの内容は多岐にわたり、参加者の皆さんにとって楽しく過ごせるひと時となっています。

今後、この活動が地域に安心して暮らし続けるための取り組みの一つとして継続されることが期待されます。



サロンの様子

◎米原西自治会様

米原西自治会では、25年以上にわたり高齢者の居場所づくりとしてほほえみサロンを開催されています。

サロンでは、毎回体操や昼食が提供されるだけでなく、手話を使った歌唱など障がいのあるなしに関わらず楽しめる工夫もされています。

近年、ボランティアに若い方の加入もあり、参加者だけでなく活動者にとっても交流の場となっており、自治会員の健康づくりやつながりづくりが進められています。

また、5年前からはサロンのほか、月4回「ほっこりカフェ」を開設され、地域住民が気軽に集える憩いの場となっています。

運営の面では、サロンとカフェのそれぞれ異なる運営者が連携されており、うまく負担を分散されています。

米原西自治会では、今後に向けて子どもの居場所づくりの必要性を検討されるなど、今後も住民が安心して暮らせる地域づくりが進められることが期待されます。



サロンの様子

◎リバティ近江自治会様

リバティ近江自治会では、15年程前から自治会全体で子どもたちの見守り活動に積極的に取り組んでおられました。下校時刻に合わせ、民生委員・児童委員や子ども会のメンバーを中心に、黄色い旗を手に子どもたちの安全を見守る姿が日常の風景となっています。



見守り活動の様子

特に「見守り強化月間」には、より一層の体制を整え、地域ぐるみで子どもたちの安全・安心を支えています。この見守り活動を通じて、子どもたちと地域の大人との間に顔なじみの関係が築かれ、自然と声をかけ合える、あたたかな雰囲気生まれています。子どもたちにとっても、大人たちにとっても、日々の交流が安心感や信頼感へとつながっています。こうした「人と人とのつながり」を大切にしたい地域の取り組みは、「支え合える地域づくり」の大きな一歩です。

今後、より良い地域社会の実現に向けて、リバティ近江自治会のさらなる活動の発展が期待されます。

ご紹介した団体・自治会では、継続的に活動する中で、新たな活動が生まれています。福祉活動は一步一步の積み重ねが大切です。地域共生社会の実現に向け、本会も皆さんとともに歩みを進めていきます。

高齢者等の移動手段を確保するためのモデル事業

「まいちゃん号予約体験買い物ツアー」を実施しました！

地域に足を運んでいると「受診や買い物に行く際の、移動に困っている」という声をお聞きます。その一方で、市内には全域を移動できる『まいちゃん号』がありますが、「使い方がわからないから・・・」などの理由で利用につなげていない状況がありました。

そこで、予約や乗車の体験を含めた学びの機会を設け、『まいちゃん号』を使えるようになることで困りごとの解決につながると考え、米原市の社会福祉課や地域振興課と本会の生活支援コーディネーターで協議を重ね、近江タクシーの協力も得ながらモデル事業を実施しました。

今回はモデル事業に取り組んでいただいた各自治会の声や様子をお届けします！

河内区 福祉委員会

河内会館での様子▶



◎きっかけは？

移動手段に不安を抱えている声をよく聞いている。せっかく『まいちゃん号』があるので、「元気なうちから知ること」が大切だし、自分たちも使えるようになっておくで将来安心。

◎実践してみても感想

予約が難しいと聞いていましたが、実際に体験してみたら「意外と簡単」だった。これなら利用できそう。

◎今後は？

自家用車での移送支援の仕組みも作っているが、支援をする人の確保が大変。『まいちゃん号』を使えば、プロのドライバーが運転してくれてボランティアにとっても安心できる。今後は『まいちゃん号』の予約や同乗などの支援も検討していきたい。

主な実施内容

①説明会



②予約時に必要な情報のメモを作成



③予約体験



④乗車体験



+

⑤お店で買物



大清水（いこいカフェにて）

◎きっかけは？

年齢を重ね車やバイクに乗れなくなった人が増えてきた。地域内にお店がなく、『まいちゃん号』を利用してもらえたらよいと思って取り組んだ。

◎実践してみても感想

説明だけでは「使ってみよう」という気にはならなかったかも。でも予約や乗車の体験をしたので利用に向けたハードルが下がった。また普段サロンに出てこない人も参加してくれてよかった。

◎今後は？

以前はバスで外出サロンを実施し、皆さん楽しんでおられたので、今後は『まいちゃん号』を使ってお出かけも考えていきたい。



▲大清水会館での様子

他にもこんな声が・・・

モデル事業でみんなで甲津原へ行っただけ、タクシーのメーターは片道で9,000円を超えていた。それが乗り合いで一人片道150円で利用できてすごいお得！



お気軽にご相談を！

今回の事業では、困りごとを抱えた方が地域にある資源を使えるようになるよう取り組みました。また、『まいちゃん号』を利用できるようになるだけでなく、外出や人との交流など、社会参加の推進にもなりました。

今後は、市と連携しながら事業の進め方や留意点を整理したマニュアルを作成し、どの地域においても継続的に取り組める仕組みづくりを進めていきます。

今回の事業に限らず、福祉活動を始めてみたい！相談に乗ってほしい！などありましたらお気軽にお問い合わせください。

各担当へのお問い合わせ先

【山東・伊吹地域】

伊吹地域福祉センター愛らんど
(春照56)

☎ : 58-1770

FAX : 58-2231

【米原・近江地域】

米原地域福祉センターゆめホール
(三吉570)

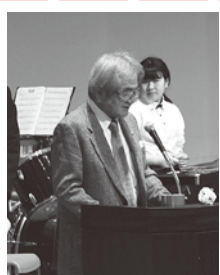
☎ : 54-3100

FAX : 54-3115

／ みんなでつくる ／

地域共生社会 フェスタ

写真で
ふりかえる
《開催報告》



社協会長あいさつ



開催日：11月16日（日）

会場：滋賀県立文化産業交流会館

体験コーナー



「共生の心をはぐくむ～みんなで作ろう！共生社会～」をテーマに開催しました。

地域の福祉に関わっている人も、そうでない人もみんなが参加し楽しみながら「ふくし」に関われる機会となりました。またコラボ出展も多く出展者同士のつながりづくりの場にもなりました。

今年も中・高生が大活躍



司会・リポート
(米原高×河南中×双葉中) (米原高×双葉中×長浜北星高)



受付・ブースサポート
(米原高×双葉中×長浜北星高)



オープニング セレモニー

今年のムービーは『愛のしるし』！
多くの福祉事業所・団体に協力いただきました！

視聴はこちらから▶



『知的・発達障がい疑似体験』
びわこ★めだか隊×でこぼこフレンズ×ほたる



『車イス&福祉車両体験』
ケアセンターいぶき
×
トーションテック株式会社



『お茶の間体験』
大野木長寿村まちづくり会
×
天満生活支援ボランティアグループ



『健康麻雀体験』
米原市健康麻雀サロン

企業からの運営サポート協力



フクシマガリレイ株式会社

ステージ発表 活動紹介



近江鼓音子隊

会場リポート



各ブースを
回って
出展者さんに
インタビュー

展示コーナー



『電気自動車×災害』
滋賀日産自動車株式会社

RETRO
GAMES



『レトロゲーム体験』
(ゲームで居場所づくり)



他にも多くの皆さまにご参加いただきました。このフェスタの開催にご協力いただいた、すべての皆さまに、感謝!!
ありがとうございました。

いろいろ
なてんてんが
集まり
ました！



『てんてん総選挙』
(てんてん展)



アドベンチャーズ

『コラボ演奏』
米原中吹奏楽部×柏原中吹奏楽部



『移動販売』
セブンイレブン滋賀高月店



『お好み焼き』
お好み焼き のんちゃん
(チームオレンジ)



『おでん・かき餅』
ファミールケア米原センター

クロー징 セレモニー



最後は会場の皆さんと
『さんぽ』を合唱

今年の地域共生社会フェスタも多くの方に参加をいただき盛大に開催できました。これからも『米原』が誰にでもやさしく、安心して住み続けられるまちになるよう、みんなで協力して取り組んでいきましょう。

こんにちは、米原市権利擁護センターです

「自分のくらは自分で決める」 ～くらし方ノートを活用してみませんか～

くらし方ノートって？

米原市権利擁護センターでは、「いつまでも自分らしくくらしたい」、その思いをお手伝いする『くらし方ノート』を作成しています。自らの人生をふりかえり、これからのくらしを描けるノートになっています。ノートを残しておくことで、いざとなった時に家族や支援者にあなたの大切な思いを伝えることができます。



【くらし方ノートにはどんなことを書き込むことができるの？】

① これまで

自分史を記入し、人生を振り返ります。

② いま

- ・大切な人や相談者、関係機関を記入します。
- ・趣味や楽しみを記入します。

③ これから

今後どのようにくらししていきたいか、介護や支援が必要になった時の希望を記します。

④ エンディング

どのように人生の最後を迎えたいか、思いを記します。



『くらし方ノート』は地域福祉センターゆめホール・愛らんどにて無料配布しています！

米原市社会福祉協議会のホームページからもダウンロードしていただけます。

(トップページ > 生活の中のご相談)

【講座・相談会のご案内】

終活フォローアップ講座

昨年の秋に開催しました、「終活講座」のフォローアップ講座を開催します。

みなさんは「家族信託」について耳にしたことはありますか？ 将来に備えて、お金のことを事前に家族に託しておく制度として、「家族信託」について司法書士の方よりお話をさせていただきます。これまでに終活講座を受講いただいた方はもちろん、初めての方もご参加いただけます！

日時：令和8年 2月20日（金）13:30～15:00

参加費：100円

申込期間：2月2日（月）～2月18日（水）

申込方法：下記電話またはLINEにて

なんでも相談会

多様な相談に対し、法律・福祉・高齢・障がいなどのさまざまな分野の専門の相談員が相談をお受けします。予約不要・相談無料です。

日時：令和8年3月14日（土）13:30～16:00

（相談受付時間 13:15～15:00）

どちらも、場所は米原地域福祉センターゆめホール（米原市三吉 570）です。
対象は米原市在住の方となります。

◆相談・お問い合わせ先◆

米原市権利擁護センター（社会福祉法人米原市社会福祉協議会）

米原地域福祉センターゆめホール内

〒521-0023 米原市三吉 570 番地

☎：0749-54-3205 FAX：0749-54-3115

✉：soudan@maibara-shakyo.or.jp

LINEでの相談も受け付けています。

登録はこちらの
読み取りを
お願いします



善意銀行だより 心あたたまるご寄付をありがとうございます（令和7年10月15日～令和8年1月8日）

善意銀行とは…市民の皆さまから寄せられた善意の金銭や物品を、市内の福祉団体や福祉事業所等が行う地域福祉活動に役立てるようにする仕組みです。（敬称略）

預託	金銭	預託者氏名	金 額	
		三菱ケミカル労働組合 関西支部（山東）	¥20,000	
	物品	預託者氏名	品 名	
		フクシマガリレイ株式会社	多目的冷蔵庫（本会への指定寄付）	
		夫馬サロン おたのしみ会	布袋、人形、お手玉（地域共生社会フェスタにて活用）	
		JA レーク伊吹 女性部	白米	
		長浜セレモニー家族葬のウィズユー	輪投げ等（本会への指定寄付）	
	匿名（5件）	玄米、サツマイモ		

払出	物品	払い出し先	品 名	件数
		子ども食堂、福祉事業所	米・野菜・日用品等	14件
		ゆめホール地域交流事業	もち米・米	1件
		生活困窮世帯	米・日用品	2件

小学生とボランティアによるもちつき体験！（ゆめホール地域交流事業）



三菱ケミカル労働組合 関西支部（山東）様よりご寄付いただきました！



フクシマガリレイ株式会社様より米を保管するための多目的冷蔵庫をご寄付いただきました！



長浜セレモニー家族葬のウィズユー様より貸し出し用備品をご寄付いただきました！

その他にも皆さまからいただきました大切なご寄付は、生活にお困りの方や子ども食堂、地域のサロンのほか、市内の福祉事業所にお渡しし、様々な活動に活用しています。

令和7年度 社協会費のご協力ありがとうございました（令和8年1月10日現在）

●普通会費（自治会・個人）…8,169,858円 ●特別会費（企業・商店等）…1,202,000円

※11月号にてご報告後、下記企業様よりご協力いただきました。

・ポラリスディスプレイサービスセンター米原 様 ・日本郵便株式会社 米原郵便局 様



ダイトロン福祉財団様より助成金を受けました！

ダイトロン福祉財団様より助成金をいただき、ほおずき作業所に間仕切りを設置しました。作業所の安全性・利便性の向上に役立っています。



相 談

・常時相談

社協職員が相談員として対応し、各関係機関と連絡連携して継続的に相談支援を行います。
毎週月～金曜日、午前8時30分から午後5時30分まで。※祝日・年末年始を除く。

〈問合せ〉米原市社会福祉協議会 ☎：54-3105

・心配ごと総合相談

暮らしの困りごとや悩みごとの相談を受け付けます。
相談は無料。時間はいずれも10時～正午まで（相談受付は11時まで）。相談時間は1時間程度。
相談員は、行政相談委員、人権擁護委員、民生委員・児童委員

〈問合せ〉米原市 社会福祉課 ☎：53-5121

相談日	会 場	相談日	会 場
2月10日（火）	米原市役所3-E会議室（米原1016）	3月10日（火）	伊吹薬草の里文化センター（春照37）
2月24日（火）	米原市役所 山東支所（長岡1206）	3月24日（火）	近江学びあいステーション（顔戸1513）

・法律相談

法律に関する相談ごとで、解決の窓口となるよう弁護士が初回の相談に応じます。事前にお申込みください。

相談日	会 場	相談日	会 場
2月12日（木）	米原市役所3-E会議室（米原1016）	3月12日（木）	米原市役所3-E会議室（米原1016）

1回30分以内 料金 1,000円。時間は9時30分～11時45分までの間。

〈問合せ・申込み〉米原市 社会福祉課 ☎：53-5121

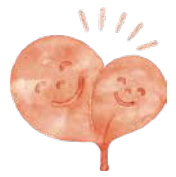


令和7年度共同募金運動報告

みなさまのあたたかいご支援、ご協力ありがとうございました

今年も各自治会を通じ、たくさんの市民の方々にご協力をいただきました。

そのほか、各種団体の活動をはじめ、市内の小・中学校・高等学校で生徒会活動やボランティア活動として募金に取り組み、私たちが暮らす米原市を良くしたいという一人ひとりの願いと温かい気持ちをお寄せいただきました。



伊吹旬彩の森にて



地域共生社会フェスタ 共同募金ブースにて、募金のご協力をいただきました。



共同募金総額

9,254,495円

赤い羽根共同募金

5,909,892円

歳末たすけあい募金

3,344,603円

- 戸別募金 4,561,621円
- 法人募金 503,000円
- 街頭募金 99,096円
- 学校募金 224,089円
- 職域募金 265,199円
- イベント募金 37,772円
- 個人募金 141,000円
- 寄付つき自販機 67,930円
- 書き損じハガキ 10,185円

<使いみち>

この募金は令和8年度に実施される、さまざまな福祉活動やボランティア活動を支えるために役立てさせていただきます。

- 福祉活動団体・ボランティアグループ等の活動支援
- 各自治会が取り組む地域福祉活動の支援
- 子育て支援等 他

<使いみち>

この募金は支援を必要とされる方々への配分や食料支援および歳末時期に行われる当事者団体の事業等へ配分させていただきました。

- ひとり親世帯や低所得者世帯等へ配分 636件 2,544,000円
- 当事者団体が行う地域交流事業へ配分 3団体 60,000円
- 民生委員児童委員協議会が行う地域交流事業へ配分 150,000円
- 米原市社会福祉協議会が行う食料支援事業等へ配分 590,603円

法人募金として下記の企業・商店よりご協力をいただきました

(順不同 敬称略)

有限会社赤堀新聞舗
医療法人福光会塚田医院
有限会社坪井農具製作所
有限会社伊吹オイルサービス
有限会社伊吹金属
伊吹建設工業株式会社
岩崎産業株式会社
大原産業
カーメンテナンスオオツカ
柏原新聞販売所
有限会社北川モーターズ
協栄自動車
有限会社坂田園芸センター
有限会社澤溶工
谷孫料理店
有限会社小林屋
株式会社電化のミヤザキ
三黄通運株式会社
三軌工業株式会社
日本ソフト開発株式会社
フジモト
柴田医院
扶桑工業株式会社
社会福祉法人大樹会
株式会社横田製作所
株式会社清原織物
株式会社ケアサポートみしま池
長浜葬祭有限会社
有限会社羽瀨石油
丸真商店
富田整体所

有限会社山崎オートサービス
株式会社いぶき
株式会社ヒサキペンタップ
有限会社高木製作所
にのみや歯科医院
中西石油株式会社
レック伊吹農業協同組合
西川自動車株式会社
有限会社葉広タイヤ商会
株式会社三原モーターズ
有限会社伴自動車
長谷川事務所
社会福祉法人ひだまり
山形石油株式会社
株式会社フクト
株式会社旭ハウジング
地域包括ケアセンターいぶき
びわこ産業株式会社
古澤税理士事務所
滋賀鋳産株式会社
堀川石材店
有限会社マコトヤ
株式会社ヤンマービジネスサービス
株式会社丸善おくむら
株式会社マルモト
日本サミコン株式会社
三宅司法書士事務所
有限会社白谷木材
有限会社伊吹・旬彩
有限会社山田工作所
山根自動車



山根歯科医院
株式会社尾賀亀
ENEOS伊吹サービスステーション
立木与三郎商店
ライセル株式会社
利高工業株式会社
力興木材工業株式会社
緑土開発株式会社
農事組合法人プレスファーム伊吹
認定こども園 長岡学園
辻理容店
米原市山東工場部会
・日本がガスケット株式会社滋賀工場
・ハマナカ繊維株式会社滋賀工場
・三菱ケミカル株式会社中日本事業所
・名鉄NX運輸株式会社米原事業所
・株式会社ヤマムログループ
・ヤンマーパワーテクノロジー株式会社
伊吹工場
・レック伊吹農業協同組合山東支店
・アコース株式会社
・株式会社アルナ矢野特車
・内堀鋳業株式会社
・近江鋳業株式会社
・柏原工業株式会社
・株式会社KOHOKU
・三友エレクトリック株式会社
・株式会社滋賀銀行山東支店
・株式会社日向電子工業所
匿名 1件

ミシンボランティアさんの力を借りて 通園・通学グッズ作りにチャレンジしませんか？

入園グッズ・入学グッズを作りたい方はおられますか？

「我が子のために通園グッズを作りたい！でもミシンは苦手💦」という方でも大丈夫!!

ミシンボランティアのベンガルキャットさんが、お悩み中の方をサポートくださいます。

「どんな布を買えば良いのか分からない💦」という方、ご安心ください!!

布地の種類やサイズの相談にも乗ってくださいます！

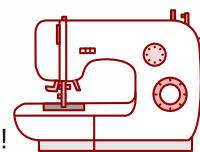
「子どものためにいざチャレンジ！」という方は、米原市ボランティアセンターまでご相談ください。ミシンボランティアのベンガルキャットさんへおつなぎします♡

作成会場：米原市社会福祉協議会 ゆめホール・愛らんど等応相談

日 時：応相談

持ち物：生地一式（カバン等のサイズ表）・裁縫道具・ミシン（お持ちであれば）

申込先：米原市社会福祉協議会 米原市ボランティアセンター ☎：0749-54-3100



木工ボランティアさん活躍中！

『園で子どもたちが使う、おままごとの棚が古くなったから修理しようかな？新しくした方が良いかな？』『人形を片付けるのにちょうど良いサイズのタンスがあると良いな♪』とのお声が届き…

誰か助けてくださるかな？？と、木工が得意なボランティアさんに相談させてもらったところ…「任せとき!!」と。

現在、作業に取り掛かってくださっています。作品が完成しましたら、米原市社協のInstagramで発信させていただきます！

「昔大工をしていた」「趣味はDIY」という方が米原市内にも沢山おられます。

今回のように、保育・福祉施設から『〇〇を修理して欲しい』『こんなの作ってもらえないか？』などご依頼があった時「作業ができる場所があれば!」「道具があれば作業するよ」というお声もありました。

そこで!!

米原市社協では、木工作业ができる場所（空きガレージなど）を探しています。

木工が得意な方が、個人で作業をしたり、皆で力を合わせて作業をしたり…お喋りしながらコーヒーを飲んだり、そこに行けば誰かがいる。そんな場所を地域の皆さんと一緒に作りたいと考えています!

「木くずで汚れても良いよ」「大きな音がしても大丈夫」という場所があれば教えてください!!

令和8年度ボランティア保険のご案内

安心・安全にボランティア活動を行っていただくために。

- ・ボランティア活動保険
- ・ボランティア行事用保険
- ・福祉サービス総合補償
- ・送迎サービス補償

に、ご加入いただくことができます！

※詳細は、ふくしの保険ホームページ↓をご覧ください。

<https://www.fukushihoken.co.jp/fukushi/front/top.php>



申込は、ゆめホール・愛らんどまでお越しくださいませ。



ふくしの保険
ホームページ



このページに関する
問い合わせ先

米原市ボランティアセンター

☎ 0749-54-3100 もしくは、こちらのLINEからお問い合わせください。



ボランティア活動
に関する
お問い合わせを
お待ちしております♪





おおきくな～れ



「手形・足形アートでお雛様を作ろう」& 「おにぎらずを作ってみんなで食べよう」

市内在住の親子を対象に、子育て世帯交流会を実施します。

「どこかおススメのあそび場知ってる?」「気楽に話せるママ友が欲しかったの♪」

「4月から就園するけれど心配なことがあるの💧」

そんなあれこれを、みんなで話しませんか? 楽しい催しを通じて、交流しましょ♡



日 時：令和8年2月27日（金）10時～12時30分

場 所：米原地域福祉センターゆめホール1階集会室（三吉570番地）

対 象：市内在住の未就園児と保護者

定 員：20組（先着順）

参加費：500円/1家族

持ち物：エプロン・三角巾・マスク・水筒・お子さまの食器や
スプーンなど。必要な方は着替え等もご持参ください。

申込先：米原市社会福祉協議会 ☎：0749-54-3100

申込み方法：上記電話・右記の米原市ボランティアセンターの
LINEからもお申込みいただけます。

申込み締切：2月20日（金）



スケジュール

9:30～ 受付

10:00～11:00

手形・足形アート

（お子様のかわいい手形や
足形を残しませんか?）

講師：mahono otete 池野氏

11:00～12:30

おにぎらず作り

（協力：おもちゃであそぼポッポ）

皆さまのご参加、
お待ちしております！

㊦だんの㊧らしの㊨あわせにまつわる川柳

ふくし川柳

2年間のご愛顧に感謝を込めて
ふくし川柳最終回

今月号の広報誌「てとて」をお手に
取っていただき、ありがとうございます。
さて、2年間にわたり、多くの皆様に
ご参加いただきました「ふくし川柳」は、
今月号（2月号）をもって最終回となり
ます。

毎号、地域の温かさや、福祉への想い
が詰まった力作を多数お寄せいただき、
読者の皆様に「福祉」を身近に感じてい
ただくことができました。これまでご投
稿・ご愛読いただいた皆様へ、心より御
礼申し上げます。



※敬称略

孫帰省 賑やかに終わり 増す疲れ
今どきは 孫は半袖 我カイロ ハマカゼ
ちよっただけ 餅を届け合う 見守りあい 多喜
ぺぬ



てとて

88号

2026年
2月号



てんてんのイラストは、地域のボランティアさんに描いていただいたイラストです。

〔発行〕社会福祉法人米原市社会福祉協議会 協働推進課

〒521-0023 滋賀県米原市三吉570番地

☎0749-54-3100 FAX 0749-54-3115

✉maibara@maibara-shakyo.or.jp

公式ホームページ：http://maibara-shakyo.or.jp/

文字が読みにくい等でお困りの方に、毎号「音の広報」としてCDに録音した「広報てとて」をお届けします。ご利用希望の方はお気軽にお問い合わせください。（「音の広報」は米原市内の音訳ボランティアの方が読み上げ・録音・編集されたものです。）



この広報は一部赤い羽根共同募金の
配分金で発行しています。

■社協公式HP・SNSは
2次元コードからご覧ください



ホームページ



Instagram